

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

私たちは、1945年以降にソ連軍によって拉致され、シベリアやモンゴルに強制移送され、奴隷労働を強いられた元抑留者です。

今年4月以降、平和祈念事業特別基金が10万円の旅行券を配布するというので、申請しましたが、いまだに大半の元抑留者が旅行券を受け取っていません。たかが旅行券を配るだけの作業になぜ3ヶ月もかかり、申請書を受け取ったことの連絡もなければ、音沙汰のないまま数か月待たされています。また、今年4月以降に亡くなられた方も、申請書が先に出されていないとすれば、支給対象外です。なんと冷たい、誠意のない対応でしょうか？そして公表されている基金の専用電話番号をほとんどつながりません。

これらの問題を基金に繰り返し指摘し、苦情や抗議を伝えても、一向に改善されませんので、政府の長たる貴殿に、直接訴える次第です。

ようやく旅行券引換券を受け取った者はさらに驚きました。一緒に同封されてきた内閣総理大臣の交付状は、前回の10万円国債交付時に比べて1/8の大きさで、総理大臣の角印はあるものの、署名もなければ、日付も受取人の名前も入っていない、非礼なものです。

日頃「美しい国・日本」を訴えられている総理は、本当にシベリア抑留者の気持ちがお分かりになっているのでしょうか？このようなもので、私たちが本当に納得し、喜ぶと考えるのでしょうか？

深い落胆と怒りとともに、この失礼な交付状をお返しさせていただきます。

私たちが求めるのは、シベリア抑留問題に対する長年の国の不作為についての国の責任者による真摯な謝罪と国による補償措置です。このような小手先の「慰労」ではありませんが、小手先の「慰労」ですら、国の誠意が感じられず、却って失望と反発を招くという事態は一層深刻です。

猛省を促し、真に強制拉致・抑留被害者の納得のいく措置をとっていただけますよう要望いたします。

2007年8月22日

全国抑留者補償協議会会長 寺内 良雄

## 面談希望者

寺内	良雄	全国抑留者補償協議会会長
下屋敷	之義	全国抑留者補償協議会副会長・福岡県連会長
平塚	光雄	全国抑留者補償協議会事務局長・東京都連会長
松原	恒雄	全国抑留者補償協議会理事
池田	幸一	シベリア立法推進会議世話人
有光	健	シベリア立法推進会議世話人